



計画的な 橋梁補修を実施中

黒之瀬戸大橋

補修経緯

- ①平成 16～18 年度 ⇒ 高欄補修・支承部耐震補強など
- ②平成 19 年度 ⇒ 橋脚耐震補強
- ③平成 20 年度 ⇒ 綱トラス部など耐震補強
- ④平成 21 年度 ⇒ 橋面防水・舗装改修
- ⑤平成 22 年度 ⇒ 橋梁塗装・床版補修

黒之瀬戸大橋は、供用開始から36年余りが経過し、現地調査の結果、橋梁塗装や耐震補強などが必要となり、平成16年度から計画的に橋梁補修事業を実施しています。

黒之瀬戸海峡

長島町と阿久根市にまたがる黒之瀬戸海峡は、幅約500メートルで日本三大潮流のひとつに数えられ、最大8ノットの潮流が流れ、冬期季節風も強いところです。

黒之瀬戸大橋

黒之瀬戸海峡に、長島町民の悲願だった黒之瀬戸大橋が開通し、以来町民の重要な生命線として利用されています。

国道389号

国道389号は、本土と長島を結ぶ唯一の道路で、緊急時の輸送道路にも指定されていて、災害など万一の場合でも通行できるように補強・補修を行っています。

本年度も台風時期を避けて工事を行います。工事中はご不便をおかけしますが、安全に万全を期しますので、町民の皆さんをはじめ、通行される皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◎問い合わせ先

北薩地域振興局建設部土木建築課
出水市駐在機関道路維持第3係

☎ (63) 3114

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

毎年7月は**社会を明るくする運動**強化月間

毎年7月を『社会を明るくする運動』強化月間と定め、全国各地でさまざまな活動が展開されています。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を予防し更生を支援する活動です。だれもが安心してしっかりと自分の人生を生きられる社会を築くには、犯罪を犯した人や非行に陥った少年の立ち直りを支え、過ちを繰り返さないように援助しあえる地域づくりが大切です。皆さんができることから始める、それが大きな力に変わります。



君の声を聴かせて。